

医療・福祉業界の労働者の離職に関する 研究へのご協力をお願い

医療・福祉業界の代表的な職種である介護・保育・看護職は、社会的意義がある重要な仕事でありながら、責任も重く、労働も過酷であることから離職率が高く、雇用の安定性が低いことが課題となっています。しかし、離職がどのような要因で生じており、どのような対策が有効かについては十分に明らかにされていません。医療・福祉業界の離職の要因を明らかにし、対策を検討するため、本研究ではインタビューにご協力いただける方を募集しております。

対象：福祉専門職（介護・福祉・看護職）としての離職・転職経験がある方
※比較対象群として、一般企業の離職経験者も募集します

手続き：インタビュー形式の調査です。インタビューは研究担当者と1対1で、オンラインで実施します。時間はおよそ60～90分程度です。

調査内容：労働者が離職・転職に至る経過・エピソード・離職要因・対策に関するものなどが含まれます。インタビューの際は、録音及びメモを取らせていただきます。記録は個人情報付せず符号により管理します。

倫理的配慮：

- ・本研究は東京大学倫理審査専門委員会にて審査を受けて実施するものです。
- ・調査への協力は任意であり、研究結果は公表される可能性があります。個人が特定されることはありません。

謝礼：インタビューを実施させていただいた方にはamazonギフトカードにて謝金3000円分をお支払いします。なお、この研究に関する費用は、株式会社ベター・プレイスとの共同研究費から支出されています。

参加申し込み

上記をご理解の上、ご協力いただける場合には、以下のURLあるいはQRコードからご回答ください。

<https://forms.gle/aACTz6cE7WqDrFMY8>



- ※ 回答時間は5分程度です。個人情報については厳重に管理いたします。依頼させていただく方には、個別にご連絡を差し上げます。ご回答から、研究への参加が心理的負担になると調査担当者が判断した場合は、インタビューを実施しない場合がございます。（謝礼はインタビューを実施した方に、お支払いします）

本件につきましてご不明な点等ございましたら、下記連絡先までご連絡ください。
（すぐに回答できないこともあります）

■連絡先：高橋 美保（東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース 教授）
odoriba@p.u-tokyo.ac.jp